

それでも挑む価値があった——中小企業診断士試験という選択

1 月 14 日に中小企業診断士二次試験の可否結果の公表が出ましたので、思ったことを書かせてください…

昨年の 2 月、中小企業診断士を受験しようと思決しました。大学 1 年生のころから様々な資格試験に挑戦してきて、2 年生になるからには、そろそろいわゆる「難関」と呼ばれる大きな国家試験を受けてみようと思ったのがきっかけです。インターネットでいろいろ調べていくうちに、中小企業診断士という資格に出会いました。自分は、何か 1 つものすごく難しいことに挑むよりも、難易度は普通くらいのを数多くこなす方が得意かなあと思っていて、その点でこの試験は自分に合っているのではないかと感じ、この試験に挑戦しようと思いました。また、簿記や情報系の知識は人並みにはありましたし、経済学もいつかしっかり勉強したいなと思っていたので、この資格に挑戦しようと考えました。さらに、中小企業診断士は 8 士業・10 士業の中でも、AI にとって代わられる可能性が低い資格だと言われています。これから AI がますます発展していく中で、この資格を活かして何かできることがあるのではないかと感じました。また、自分は教職課程を履修しており、他の人と比べて履修しなければならない単位数がかなり多い状況です。そのバランスを考えたとき、今の自分に与えられた時間をフルに使って挑戦できる難易度の上限が、中小企業診断士なのではないかなと思い、受験を決意しました。

一次試験は、経済学、企業経営理論、運営管理、経営法務、財務・会計、経営情報システム、中小企業経営・政策の 7 科目です。各科目で 40 点を下回らず、かつ全体で 6 割を超えれば合格という試験です。私は法学部ということもあり、特に経済学は独学で勉強するのが一番大変だったなと思っています。試験日は 8 月 3 日でしたが、その約 1 週間前に大学で 40 単位分ほどの試験（法学、教育学、文学）がありました。7 月は、日によっては 12 時間ほど大学にいる日があり、それが週に 3 日くらい続くような生活でした。そんな中でも何とか勉強を続け、結果としては +3 点で一次試験に合格することができました。ただ、問題作成側のミスもあった年だったので、本当に運だけで合格できたという感覚です。実際、その年の合格率は過去最低で、かなり難しい試験だったと思います。

正直なところ、一次試験は絶対に落ちたと思っていて、結果をずっと見ていませんでした。ちょうどその頃から体調も崩れ始め、過敏性腸症候群（毎食後に薬を飲まないとい便秘が出ない）や、温熱蕁麻疹（少し体温が上がるだけで全身に痛みを伴うかゆみが出る）が悪化していました。このままだと倒れると思ひ、一度休まないといけないなと感じて、あえて結果を見ていなかったというのがあります。結果を確認したのは 9 月 5 日でした。そこで一次試験合格を知り、次の二次試験が 10 月 26 日だということを改めて意識しました。中小企業診断

士は、一般的に 2~3 年以上かけて取得する人が多く、一次試験が終わった直後からすぐ二次試験の勉強に取りかかる人も多い中で、私自身はそうすることができませんでした。

二次試験は論述問題で、そう簡単に合格できるものではありません。それでも、簡単には諦められない性格なので、急いで勉強を始めました。当日までになんとか一通り仕上げることができましたが、結果は不合格でした。全体で 6 割を超えれば合格なのですが、どの設問も、あと 1 つか 2 つ、記述の中に語句を入れられていれば 6 割を超えていたのになあと思います。これはいつも感じるのですが、本当に詰めが甘い。あと一歩が足りないなと思います。こうして振り返ると、去年は中小企業診断士試験にずっと悩まされ続けた 1 年だったなと思います。勉強をしすぎると本当に体調を崩すんだな、ということも身をもって実感しました。それでも、挑戦したことに後悔はありません。お金も正直、怖いくらいかかりましたし（試験料だけで 4 万円近く飛びました）、大学生らしい遊びも封印して、大学の図書館に籠もる生活を余儀なくされました。

ただ、それ以上に、中小企業診断士の受験生は主に 40 代、50 代の方が多く、これだけ多くの大人が、こんなにも難しい試験に本気で挑戦しているんだということに強く感銘を受けました。そういう姿を見て、大学生ならもっと頑張らないといけないなとも思いました。ストレート合格率が 4%ともよばれる資格試験にこんなにも多くの人が…シンプルにかっこいいなとも思いました。「遊びも勉強も」とよく言いますが、そんなに器用には両方はできないので、今年はほとんどの時間を勉強に費やすことにしました。

長くなったので、最後に今年、2026 年の抱負です。中小企業診断士の二次試験は、一次試験に合格していれば 2 回のチャンスがあります。今年は一次試験をパスした状態で、二次試験に挑戦することができます。もちろん二次試験には挑みますが、今年の勉強量は他の受験生の中でもかなり少ないという自覚がありますし、同じことをやっても合格できないと思っています。そこで今年は、11 月の日商簿記 1 級に向けて、会計の力を抜本的に強化したいと考えています。二次試験の合格者を見ていると、問題 1・2・3 で 6 割を切っている、問題 4 の簿記・会計で一気に巻き返している人が多いと感じました。私は大学 1 年の 7 月に簿記 2 級に合格してから期間が空いてしまい、今回の受験を通して、まだまだ会計の力が足りていないと痛感しました。簿記 3 級も 77 点で合格した程度で、決して簿記が得意だとは思っていません。だからこそ、もっと本腰を入れて、本気で勉強しないといけないなとも思っています。何があっても来年は合格にもっていくつもりです。大学生として、高校生の受験勉強量には負けないうつもりです。